

# キックオフ

札幌地域労組 機関紙

# S G U

SAPPORO GENERAL UNION

## 第130号

2011年 11月1日発行

札幌市北区北6条西7丁目 北海道自治労会館 3F

TEL756-7790(代) FAX756-7792

### つなげた!! 全国集会へ

## さよなら原発 1000万人アクション in 北海道



9月18日「脱原発・持続可能で平和な社会をめざそう!」実行委員会主催の集会が、会場に入りきれないほどの参加者を集め、札幌市内で開催されました。

当日は、あいにくの雨でしたが約2000名が結集し、久しぶりに熱気に包まれた集会となりました。

この集会は、①泊原発の廃炉に向け、段階的な運転停止 ②青森県・大間原発の建設中止 ③道内すべての自治体における「高レベル放射性廃棄物最終処分場」の受入れ拒否 ④脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会への転換 を求めて取り組みました。

集会のメインである「リレートーク」では、福島県伊達市から札幌市へ避難してきた宍戸さん、幌延町から核廃棄物施設誘致に反対する道北連絡協議会の久世さん、函館市から大間原発訴訟の会の中森さん、泊村から岩内原発問題研究会の斉藤さんからそれぞれ発言があり、問題点を指摘すると同時に私達が取り組むべき課題も明らかになりました。

最後に、「子どもたちを放射能から守ろう! さよなら原発!」と、力強く集会アピールを全体で採択して、集会を終えました。

そして、雨の中を「建設国保ユニオン」組合員お手製の横断幕を先頭に、力作ぞろいのプラカードを掲げ元気にシュプレヒコールを繰り返しながらデモ行進を無事に終わりました。(幸識)

## 第23回コミュニティ・ユニオン全国交流集会 in 阿蘇 前年活動報告と今年度活動方針を全会一致で採択

札幌地域労組から原田優子委員長をはじめ15名が参加し、全国から62のユニオンなど320名が集い、10月1日から2日にかけて開催されました。

前段の定期総会では、活動方針の柱として、①派遣法改正の速やかな実現、合理的理由の無い有期雇用禁止 ②パート労働者や女性労働者などの均等待遇実現 ③最低賃金の時給千円実現などが討議されました。役員改選は、原田委員長など4名の共同代表を再選しました。



交流集会では、社民党福島みずほ党首など来賓あいさつの後、関西労働者安全センターの西野事務局長から「震災の労災補償－被ばく問題のこれから」と題して特別講演が行われ、問題提起を含めて学習しました。西野事務局長は、「被ばく管理手帳の発行が間に合わない」など現に起きている深刻な実態を示し、あらためて「脱原発をめざす決意」と原発推進の旗を振った自民党・学者・財界（電力会社）・マスコミ等「原子力村」の責任を強調しました。

引き続き「特別報告」は、各闘争団から団結権を駆使して更なる闘いの決意等が述べられました。夜のレセプションでは、地元女子高校生による伝統舞踊「山鹿灯籠」で始まり、恒例の各参加団体の自己紹介、闘争ユニオンのアピールなど、2次会も含めて遅くまで交流が続きました。

2日目は、11分科会で経験交流・意見交換などが行われ、議論が深められました。また、最後の「全体集会」は、「人間らしく働くための労働法制の実現を目指す特別決議」と「集会宣言」を採択し、来年開催の京都からの挨拶後、力強い「団結ガンバロー」を三唱して閉会しました。

## 非正規労働者の権利実現全国会議・札幌集会 北海道大学クラーク会館にて開催

9月17日、北海道大学クラーク会館の講堂で「非正規雇用の権利実現全国会議・札幌集会」が開催され、約270名参加のもと、多くの方々から貴重な話を聞くことができました。

まず最初に北海学園大学の川村雅則准教授からは、介護・保育現場での現状についての報告と、川村先生自身が軽貨物業者と一週間共に勤務をするという実地調査を行い、その調査から、いかにドライバー職場が過酷な勤務であるかを報告されました。

続いて、上田文雄市長自身が札幌市の公契約条例についての現状や条例制定に向けての取り組みについて講演される予定でした。残念ながら今回の集会には来られませんでした。札幌市財政局理事の新谷光人氏から札幌市の公契約条例制定に向けての動きを説明いただきました。「まずは適用範囲が狭くても、きちんと実効性を確認する」「他の自治体を見習い、奇をてらわない中身に」という事と「市長には『適用範囲の裾野を広げるように』という意思がある」ことを強調されました。

北大名誉教授の道幸哲也氏からは、解雇・辞職・自主退職など様々な雇用終了のケースと、それに関わる法律問題についてお話いただきました。

最後に特別報告として、札幌地域労組鈴木書記長が、職場の非正規労働者の課題を労働組合としてどう解決していったかを実例をもとに、闘いの現場に立つ者の視点から報告しました。

長引く不況で、労働者の権利がないがしろにされる風潮の現代ですが、そんな状況でも「働く」という事について真剣に考えてくれている方がこんなにも居るといふ心強さを感じさせてくれた集会でした。



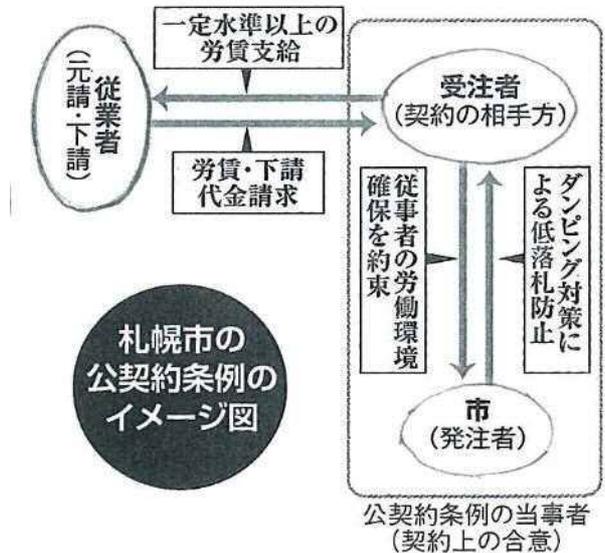
## 動き始めた公契約条例 生活できる賃金で、より良い公共サービスを！

低価格競争は、地域に暮らし働く労働者の雇用や賃金・労働条件低下を通じて地域経済を冷やしており、公共サービスの質や安全性まで低下しています。

価格に偏重した入札から公正な労働条件の確保、環境への配慮など法令を守り社会的責任を果たす事業者を総合的に選ぶ方式に改めることが重要です。

このためには、公契約に関する基本法の制定を通じて労働関係法の遵守や適正な労働基準の確保を盛り込むことであり、地方自治体レベルでは、公契約条例を制定し、働く人の賃金水準や労働条件を地域レベルで確保することです。

2009年には千葉県野田市で全国初の公契約条例が成立し、その後、川崎市でも政令市として初めての条例が制定されています。札幌市でも年度内の公契約条例制定をめざしております。



## 「コミュニティ・ユニオン全国交流集会 in 阿蘇」に参加して

10月1日から2日にかけて、管理職ユニオンのメンバーとして参加させていただきました。

今まで仕事の都合がつかず、声をかけていただきながら不参加が続いていましたが、今回は3日目に水俣を見学するというお話もあり、仕事をほったらかし(?)にして参加しました。よって、現在大変な思いをしております(笑)。

大会については、労働問題がまだまだ全国に山積している現実と、全国で頑張っている仲間が大勢いることを目の当たりにして、勇気をいただくと同時に、労働組合の必要性をあらためて実感しました。

とりわけ、外国人労働者の問題は、非正規労働者の問題と同様、労働組合運動の表舞台ではなかなか議論されず、その闘いが孤軍奮闘にならざるを得ないことを考えると、労働組合が正規労働者(?)の権利を守るための自助団体的な傾向が強くなる現在、労働組合運動の目的や本質は何なのかという思いを強くしました。

かつて水俣のチツソ第一組合が「恥」宣言を期に「水俣病患者の側に立つ」と決意したことを重ね合わせると、よりいっそうその思いを強く感じました。

水俣で起きた事件(まさしく事件です!)に対し、労働組合がどう対峙したのか、そしてその教訓を労働組合として、今どう受け止めるのか。2日目の分散会で、原田正純先生(水俣病の発見者)が「今回の福島原発事故を見るに、福島で起きていることはまさしく水俣と同じで、福島で水俣の教訓が生かされていない」とおっしゃっていた(怒っていた)ことと重なり、とても勉強になりました。

しかし、勉強になっただけではだめで、原田先生がおっしゃるように「教訓を生かさなければならぬ」ということを考えさせられました。

今回の参加は、色々な意味で学ぶことが多いものでしたが、反面、自らの無知を恥じるものでもありました。しかし、こうした思いをどうつなげていくかが大事であり、組合運動もそうした地道なことから始まるのではないかと思います。

(札幌管理職ユニオン 副委員長 小塚 章)

札幌市東区の特別養護老人ホーム大友恵愛園で組織している「大友恵愛園支部」です。

～大友恵愛園支部～  
**職場探訪 第7回**

今から17年前、当時介護現場で欠員が出て、利用者の処遇に支障が生じていても前理事長は「そのままの人数でやれ」と言って、職員の補充をしませんでした。前理事長は施設に足を運ぶ事が殆どなく、福祉現場に全く関心がない事の表れでした。当時の大友は「組合を結成した場合、私は解雇されても異存ありません」との誓約書を入社時に書かされており、労組法を知らない殆どの職員はそれを鵜呑みにしており、抑圧された条件の中で、職員有志が、弾圧覚悟の上で組合結成に立ち上がり、短期間の内に多数派形成になりました。

前理事長は、組合結成直後より不当労働行為を繰り返し行ってきましたが、その事が組合を成長させてくれたと思います。ストライキ・理事長宅デモ行進・裁判等々、様々な闘争を続け2009年6月、組合結成15年かけてようやく理事長を退陣させる事ができました。

この闘争の中で労働三権を実際に行行使出来た事は貴重な経験でした。現在、新理事長に代わり少しずつ問題も解決されており、労使関係は落ち着いています。最近では、介護に携わる中で必ず問題となる「腰痛問題」ですが、特休15日を勝ち取り、福祉業界で第一号です。他の福祉業界の仲間達にも、大友の事例を挙げて交渉し、勝ち取って頂きたいと思います。当組合は2010年、臨職の労働条件改善に取り組み、その結果、職員の9割以上の組織化に成功しました。今後も民主的な活動を目指して精進して行きたいと思います。

**大友恵愛園支部が初優勝！**



平川支部長(左から2人目)と組合員家族

恒例のソフトボール大会が9月18日(日)総当たり戦で、6チーム組合員家族90名が参加し、小雨まじりのなかで開催されました。雨の為、最後の決勝戦はじゃんけんの闘いで大友恵愛園支部が悲願の初優勝、準優勝は上位常連の北興化工機労組、第3位には、初出場で大健闘した東部清掃支部、第4位は公清企業支部が受賞し、団結ラーメン他、豪華な景品が贈られました。

**☆札幌地域労組☆**  
**第63回定期大会**  
とき 2011年12月3日(土) 13時開会  
ところ センチュリーロイヤルホテル(北5西5)  
(大会後、交流会が開催されます)

**【編集後記】**  
野田政権は米国の言いなりになって TPP (環太平洋経済連携協定) への参加を決めようとしているが、TPP は、米国の利益優先に沿っていることは明らかである。TPP は、物品関税の原則撤廃を原則とするだけでなく、さまざまなサービス分野の一層の自由化・市場開放を求めるものであり、国民生活全般に大きな悪影響を与える。日本農業に大打撃となるだけでなく、医療、金融、中小企業などに広範な分野で国民生活を損なうものである。(しん)

- 【告知板】**
- ☆2011年納会 パークゴルフ同好会  
日時 11月 6日(日) 集合8時 札幌駅北口  
場所 由仁町 ユニの湯・薫りの里PG場
  - ☆高齢者施設部会(例会&忘年会)  
日時 11月16日(水) 18時30分  
場所 自治労会館 書記局
  - ☆札幌市委託清掃友の会 学習会・合宿  
日時 11月19日(土) 13時  
～20日(日) 12時  
場所 ホテル鹿の湯 定山溪温泉
  - ☆労働者の権利講座  
日時 12月 6日(火) 18時30分  
場所 自治労会館 3階会議室
  - ☆個人加盟組合忘年会  
日時 12月17日(土) 18時  
詳細、別途ご案内